

福山平成大学

福祉健康科学研究

Journal of Wellbeing Science

2018/3  
Vol. 13



**Fukuyama  
Heisei  
University**

## 『福祉健康科学研究』投稿規定

福山平成大学福祉健康学部紀要『福祉健康科学研究』は、教員相互の研究交流と、教育研究活動を議論する場の提供を目的に発行するものである。

### 1. 原稿のカテゴリー

総説、原著論文、その他（報告、研究ノート、資料、書評、学会動向等）とする。投稿論文には、査読を課す。カテゴリーは、執筆者の申請をふまえて、編集委員会が決定する。また、一般投稿論文とは別に共通テーマの設定や特集などを企画し、内容の充実を図る場合もある。

### 2. 投稿資格

投稿論文の執筆者には、福山平成大学福祉健康学部教員が必ず含まれていることとする。

### 3. 体裁

紀要の体裁は、A4判横書きとする。原稿の受け渡しはA4判とし、別途『投稿の手引き』において詳細を定める。

### 4. 原稿量

刷り上がりで最大10ページを目安とする。10ページを目安は和文の場合およそ10,000字、英文の場合は3,000語程度である。論文への掲載料は徴収しない。

### 5. 論文記載順序

#### (1) 和文原稿の場合

和文タイトル、著者名、所属、連絡先（E-mail）、和文要旨（600字程度）、キーワード（3語）、本文の順に記載。注記、参考文献は論文末に一括して記述する。最終ページには、欧文タイトル、欧文著者名、欧文所属、欧文連絡先、欧文要旨（200～300語程度）、キーワード（3語）をつける。

#### (2) 英文原稿の場合

論文タイトル、著者名、所属、連絡先（E-mail）、要旨（200～300語程度）、キーワード（3語）、本文の順に記載。注記、参考文献は論文末に一括して記述する。

### 6. 著作権

掲載された論文等の著作権は、福山平成大学に帰属するものとする。ただし、著者が教育・研究に利用する場合は、再利用を妨げない。

### 7. 別刷りの配布および原稿料

紀要発行予算において、別刷30部を著者に贈呈する。また、著者負担で増刷することは可能である。原稿料は支払わない。

### 8. その他

(1) 書式：論文タイトル、要旨などは活字を少し大きくし、ページ全面を使用する。

本文以下は各ページとも左右に分け、1行25文字40行とする。

(2) 発行部数は400部（他大学図書館、教員、高校用として）とする。

(3) ISSNへ登録する。

## 2017（平成29）年度『福祉健康学部』紀要委員会

委員長 武田 守弘  
委員 加知 ひろ子  
中嶋 裕子

### 編集後記

『福祉健康科学研究』第13巻をお届けします。今年度より福祉健康学部紀要委員会の委員長を仰せつかりました。昨年度からの引き継ぎがうまくなされず、手探りの状態での作業となってしまったため、多くの方々にご迷惑をおかけしたことと思います。皆様のお力添えを頂き、何とか完成を迎えることが出来ましたこと、誠に感謝申し上げます。

今年度は以下の2点を大幅に変更いたしました。1点目は、経費などの事務的手続きを簡略化するために、年度内「発行」及び「発送」を掲げ、取り組んできたことです。そのため、従来とは異なり、かなり前倒しのスケジュールとなり、関係者の皆様にはご迷惑をおかけしました。

2点目は査読の在り方を見直したことです。これまでも一編の論文につき、2名の査読者を割り当て慎重に査読が行われてきました。しかしながら、本巻では今一度査読者に査読のレベルを上げるようお願いし、執筆者と査読者間でコメントのやり取りを通して意見を戦わせながら（時には再査読、再々査読も行われながら）、論文内容の充実を図りました。このような取り組みを行いながら、学部教員の研究レベルを少しでも引き上げることを目的としました。また、本巻からインターネットにより公開することが決定されていることも背景にあります。本紀要を多くの方々にご覧頂き、ご意見を賜ることが出来れば幸いです。

大学教員にとって、研究することは宿命です。日々の多大なる業務に疲れ、研究が進まないことも理解できます。ただ、研究者本人が興味を持ったり、また必要に迫られたりした問題・課題に対して、研究することで普遍的な答え（自分なりの答えであっても）を見出すこと出来れば、その喜びは何事にも代え難いものであります。学生にもその内容を伝えたくになります。それこそ生きた教育活動につながるのではないのでしょうか。

最後になりましたが、紀要委員の加知氏、中嶋氏、事務方の明石氏、村上氏、印刷をお願いした河崎氏にはたいへんお世話になりました。私自身、本紀要の作成が13年間お世話になった本学での最後の仕事となりました。重責を果たすことが出来たことに心より感謝いたします。ありがとうございました。

（武田守弘）

### 『福祉健康科学研究』第13巻 第1号

2018（平成30）年3月

編集・発行 福山平成大学 福祉健康学部  
〒720-0001  
広島県福山市御幸町上岩成117-1  
電 話 084-972-5001（代）  
F A X 084-972-7771  
<http://www.heisei-u.ac.jp>

印刷所 かもめいと有限会社  
〒720-2412  
広島県福山市加茂町下加茂179  
電 話 084-972-2861

# JOURNAL OF WELLBEING SCIENCE

Vol.13, March 2018

## Contents

### [Original Articles]

- Towards Good Leadership In Bringing Up Children To Enjoy Exercise  
 .....*Junko NAGAI, Fumiko HIASA*
- On the application of piano accompaniment of common musical singing materials  
 used in primary education :  
 Focusing on practical guidance for elementary students studying piano .....*Noritaka ITO*
- A Study of Social Work and Family Support Courses in the Curriculum  
 for Training Childcare Workers .....*Daisuke NAKAHARA*
- A study on bridging the gap between high school and university and the study content of  
 “Foundation of social welfare” in the welfare course at high schools .....*Taizo ITO*
- A Study on Career Formation and Practice of Certified Care Workers in The Nursing Home :  
 From Certified Care Workers First Step Training  
 And Required Certified Care Worker Statues 12 Items Attitude Survey  
 .....*Atsushi USHIDA*
- Verification of Validity and Utility of “Four Conditions to Enhance Quality of End of Life Care”  
 .....*Hiroaki SUGIMOTO*
- A study of Kubota Jiro's Medical Ideology .....*Hiroko NAKAJIMA*
- Physical strength structure and characteristics of sports college freshmen  
 .....*Tsuyoshi ISHIBASHI, Chiaki ISHII*
- Motor Function of community-dwelling Young-old and Old-old  
 .....*Chiaki ISHII, Sachio USUI*
- Acquire expertise on sports mental training :  
 From the results of the memorandum test and retention test  
 .....*Morihiro TAKEDA, Takashi SUGEKATA*
- Experiment in lesson planning in senior high school physical education theory  
 Development of a lesson evaluation scale for the unit on doping and sports ethics  
 .....*Hiroshi MATSUDA*
- Perspectives on 'WAZA' in motor skill learning .....*Kei MORISAWA*
- The purpose of this research is to establish the relationship between rally time and  
 the match contents for the men's volleyball university teams :  
 in the 2016 international university invitational volleyball championship  
 .....*Hiroshi MATSUI*